

平成 18 年 5 月 31 日

新日本製鐵株式会社

京都 / 小倉百人一首殿堂に新日鉄のチタンが採用

新日本製鐵株式会社（社長：三村 明夫）は、建築物の屋根・外装へのチタンの適用・拡大を推進しておりますが、このほど当社のチタンを使用した「小倉百人一首殿堂・時雨殿」が完成・開館致しました。

本件は、京都商工会議所 120 周年記念事業の一環として進められたもので、小倉百人一首に関わる多彩な行事の開催、調査研究成果などの情報発信を目的としております。

チタンは、意匠性に優れ 比重が軽いため屋根荷重が少ないこと 比類なき耐食性を持ち、イオンの溶出が少なく環境に優しい金属であることなど建材として優れた機能を備えています。

当社は、和風建築にも相応しい表面仕上の開発を行い、建材としての意匠性向上のため総合的な技術開発に努めております。当社のチタン建材は、2003 年グッドデザイン賞、平成 16 年度大谷美術館賞を受賞しており、各地の美術館等の恒久的な文化施設に、また、寺社仏閣を始めとする多くの日本の伝統的建築物に採用されております。

京都・嵐山の地に建設された「小倉百人一首殿堂」は、当社がこれまで磨いてきたチタン技術の結実であり、現在では更に個人住宅分野にも拡大しております。

< 今回受注物件の概要 >

- ・ 物件名 「小倉百人一首殿堂・時雨殿」
- ・ 場所 京都府京都市右京区嵯峨天龍寺芒ノ馬場町 11
- ・ 施主 財団法人 小倉百人一首文化財団
- ・ 設計・施工 株式会社 竹中工務店
- ・ 施工面積 400 m²
- ・ チタン使用量 1 トン(アルミナプラスト仕上)
- ・ 開館 2006 年 1 月 27 日

(お問い合わせ先)
総務部広報センター 鈴木
TEL 03-3275-5021

先進のその先へ、新日鉄

www.nsc.co.jp

< 参考 > 物件写真

京都 小倉百人一首殿堂・時雨殿



* 屋根の上部が日本瓦、下部が日本瓦の風合いをもつアルミナブラスト仕上げのチタン材。